

## 第4章 保存活用の基本計画

前章までに述べたように、資料館は比較的利便性の高い立地にあり、毎年多くの人々が訪れる価値ある歴史的建造物で、札幌国際芸術祭や SIAF ラボをはじめとした活動が活発化しています。このような「歴史」と「アート」の対比・融合により創造性が喚起されることを期待して、この章では次のように保存活用における基本方針と、それに即した事業計画、運営計画、施設計画を定めます。

### 【基本方針】

歴史的建造物である資料館を札幌市の財産として維持保全するとともに、以下のよう  
に研究・創造と交流・発信の場として活用することを基本方針とする。

- 市民や観光客が憩い・交流するなかで、メディアアートに触れることで、アイデアを生み出し創造性を喚起する場
- 国内外のクリエイティブ人材がメディアアーツ都市である札幌を訪れる際の玄関口となり、様々な機関・団体等との協働による活動を行う場
- 資料館を訪れるすべての人に建築物の歴史性とその価値を伝えていく場

### 【計画の構成】

基本方針に即して、次のように計画を構成します。

- 事業計画：メディアアート表現に係る研究・創造、表現の記録の蓄積・国内外との交流と発信（第3章－1）及び歴史の伝承（第3章－2）に係る事業内容を定めます。
- 運営計画：事業を適切に運営するための体制（第3章－1、2）を整えるとともに、施設の適切な維持管理（第3章－3）を行うための運営内容を定めます。
- 施設計画：既存建築物の限られた空間内においても合理的な活動展開が図られるよう諸室の機能的配置（第3章－1）、文化財制度の活用（第3章－2）、安全・安心で誰もが利用しやすい施設とするための耐震、保全改修とバリアフリー化（第3章－3）を図るための施設整備内容を定めます。

# 1 事業計画

## (1) 事業の構造

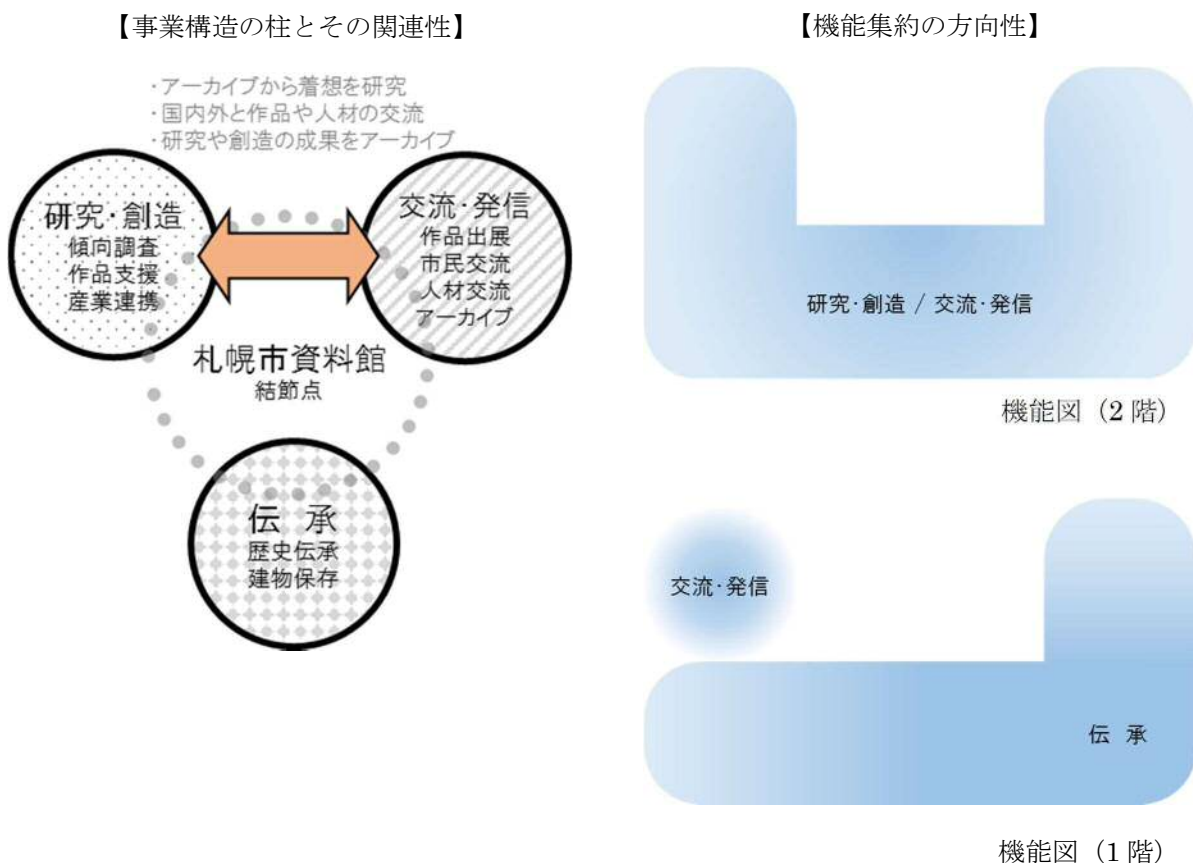
事業の構造として以下の3つを柱とします。

ア 研究・創造：メディアアート表現の研究とその成果に基づく創造

イ 交流・発信：市民や観光客、他分野の研究機関等や国内外のクリエイティブ人材との交流、表現手法の発信

ウ 伝承：大正期の建築物の価値と旧札幌控訴院としての歴史の伝承

これらの事業の柱のうち相互に深い関連性のある事業については、その効果を高めるため機能集約することとし、施設計画においてそのゾーニングを示していきます。



## 研究・創造

### (ア) 国内外のメディアアートの傾向の調査や表現手法の研究支援

- a 国内外におけるメディアアートの表現手法の傾向や産業に結びついている事例の調査を行います。
- b アーティストの作品イメージを具現化する表現手法を確立するために、媒体の選択やその使い方などについて研究する場の提供などの支援を行います。

### (イ) メディアアート表現からの産業の創出研究

メディアアート表現としての制作を支援するとともに、個々の作品が製品化される可能性の研究や、メディアアートを創造する自由な発想が製品やサービスの開発時に新しいアイデアを生み出すための支援を行います。

## 交流・発信

### (ア) 市民や観光客が気軽に訪れられる憩いと交流の場の提供

現在の SIAF ラウンジと同様に、市民や観光客が気軽に立ち寄り、ゆっくりとくつろいだ時間をすごしながらライブラリーやアーカイブを通じてメディアアートに触れることのできる交流の場を提供します。

### (イ) UCCN 加盟都市や分野を横断した情報共有・人材交流、共同プロジェクト

- a UCCN における都市間の戦略的連携のひとつである人材交流として、人材の派遣または加盟都市からのアーティスト等の受け入れを行います。
- b 年間 10 件を超える UCCN からの国際公募や出展要請など各種の都市間ネットワークにおける交流事業等の際には作品制作やプロジェクト（制作に係る一連の取組）構築を行い、公募提案や作品出展を行います。
- c アーティスト、大学などの教育機関及び他都市の芸術関係団体など分野を横断し、異なる知識技術の組み合わせなどを通じた共同のプロジェクト構築を行います。

## 伝承

### 旧札幌控訴院の歴史・建築物の価値の発信

資料館の建築物としての価値の解説、札幌控訴院当時の資料、象徴的な判決など、歴史や札幌の司法に関わる展示を充実するとともに、まち歩きを楽しむポイントとなる歴史的資源として情報発信を積極的に行います。

## (2) 事業展開

### ア 資料館と他の文化芸術施設等との連携

資料館は、札幌の文化芸術施設のなかでメディアアートを中心とする研究・創造と交流・発信の場となりますが、その機能のひとつには他の文化芸術施設等との結節点の役割があります。

他の文化芸術施設等との連携により、国内外からの人材による長期にわたる制作活動については、資料館に加えて滞在型制作施設も活用し、大規模作品の展示を行う際には、札幌文化芸術交流センターをはじめとする展示機能等を有する施設を場として市民向けに発表します。

また、研究・制作活動において、資料館で日常的に用いる機材よりも高い機能を有する機材を必要とする場合には、3Dプリンター等を備え外部に開放された民間施設を活用するなどの連携も行います。

さらに、資料館におけるメディアアートを生み出す独創的な表現がイノベーションを誘発し続け、新たな産業が創造されるよう、インタークロス・クリエイティブ・センター（ICC）との情報交換や人的交流などによりクリエイティブ産業等との連携を推進し、クリエイティブ産業のさらなる振興を図ります。

#### 【関係施設の主な機能】

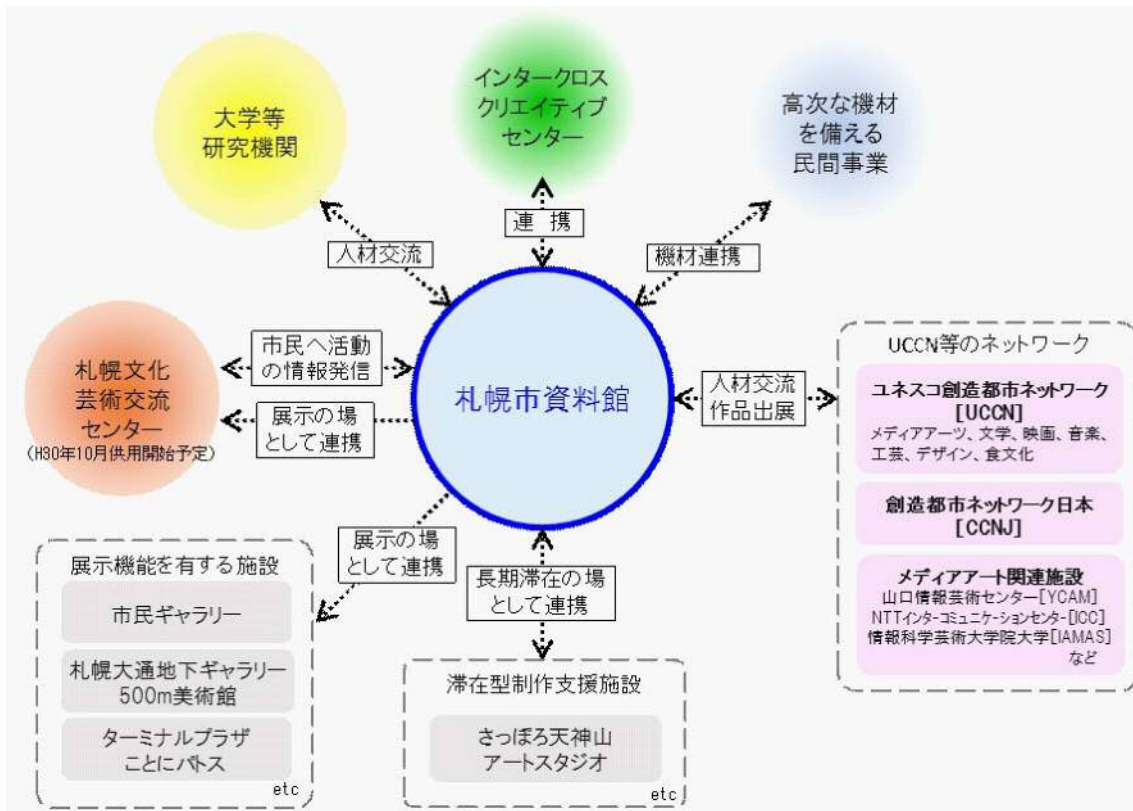
市民の文化芸術活動を支え育てていく施設：札幌市民文化芸術交流センター  
(ア) 支援機能：市民・文化芸術団体・アーティストの相談・活動の支援、アートマネジメント人材の育成、ボランティアへの支援  
(イ) にぎわい創出・発信機能：子どもに対する普及・育成、多様な文化芸術作品のイベント情報等の提供  
(ウ) 施策研究機能：文化芸術施策検討のための調査

クリエイター支援による産業振興施設：インタークロス・クリエイティブ・センター  
(ア) 人材育成：クリエイター等の人材育成  
(イ) 事業支援：新たなプロジェクト（事業）の創出支援  
(ウ) 産業連携：コンテンツ産業と他産業との連携促進

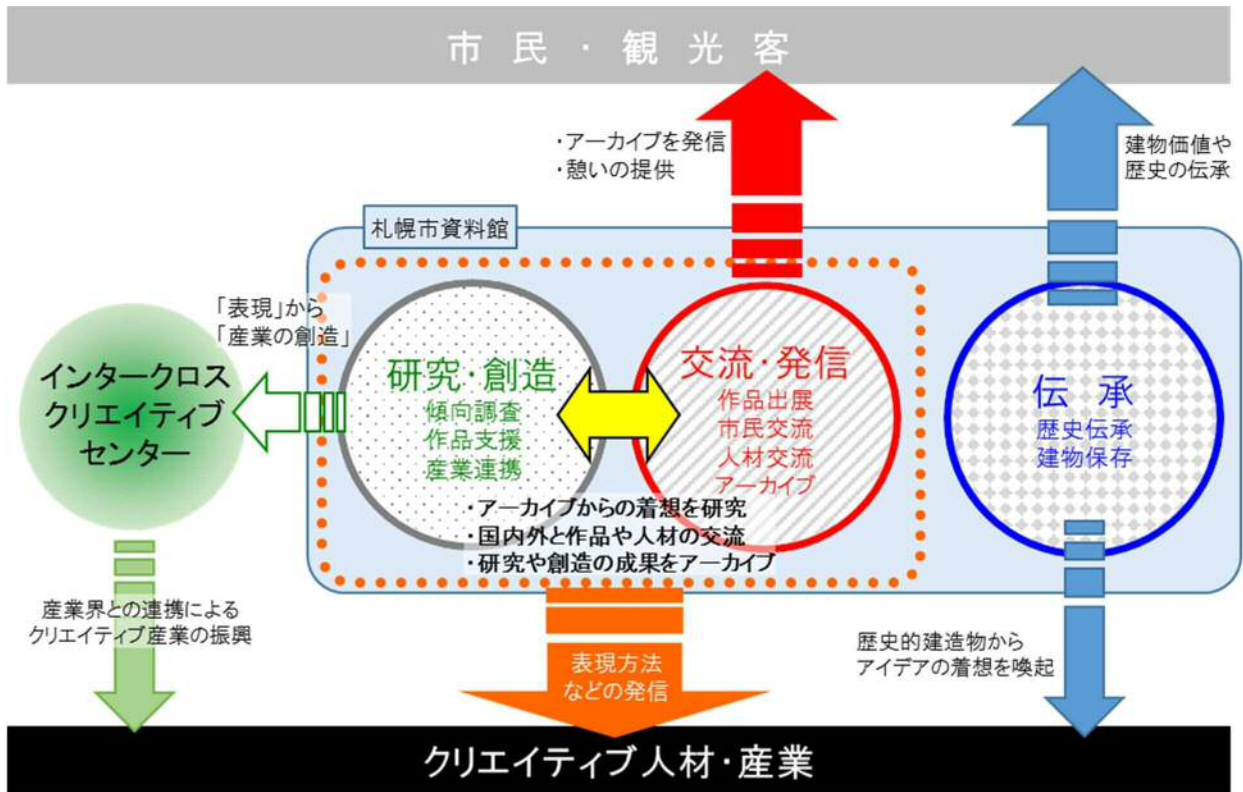
### イ 国内外との情報連携による人的交流の促進

UCCN 等の国際的なネットワークを活用しながら広く国内外の都市へ人材を派遣したり、資料館で創造された成果などの情報を発信交換したりすることにより、クリエイティブ人材が活発に訪れるなどといった人的交流を促進します。

【関係施設の相関図】



【事業構造と市民等への還元イメージ】



## ウ 立地環境を生かした国際芸術祭等との連携

資料館の立地する大通公園西周辺エリアには、高次の美術品の展示等をする北海道近代美術館、三岸好太郎美術館及び舞台芸術の鑑賞等のホール機能のある教育文化会館などが集積しています。また規模の大きいホテル等の宿泊施設も立地しており、観光客やクリエイティブ人材などが滞在しやすい地区となっています。

このような市民や観光客が歩いて移動できる範囲のなかで様々な文化芸術に触れられる立地環境を生かして、札幌国際芸術祭をはじめ、ホワイトイルミネーション、さっぽろ雪まつりなどの観光イベントなどとの事業連携を図っていきます。

【都心における資料館の立地環境】



## 2 運営計画

### (1) 運営体制

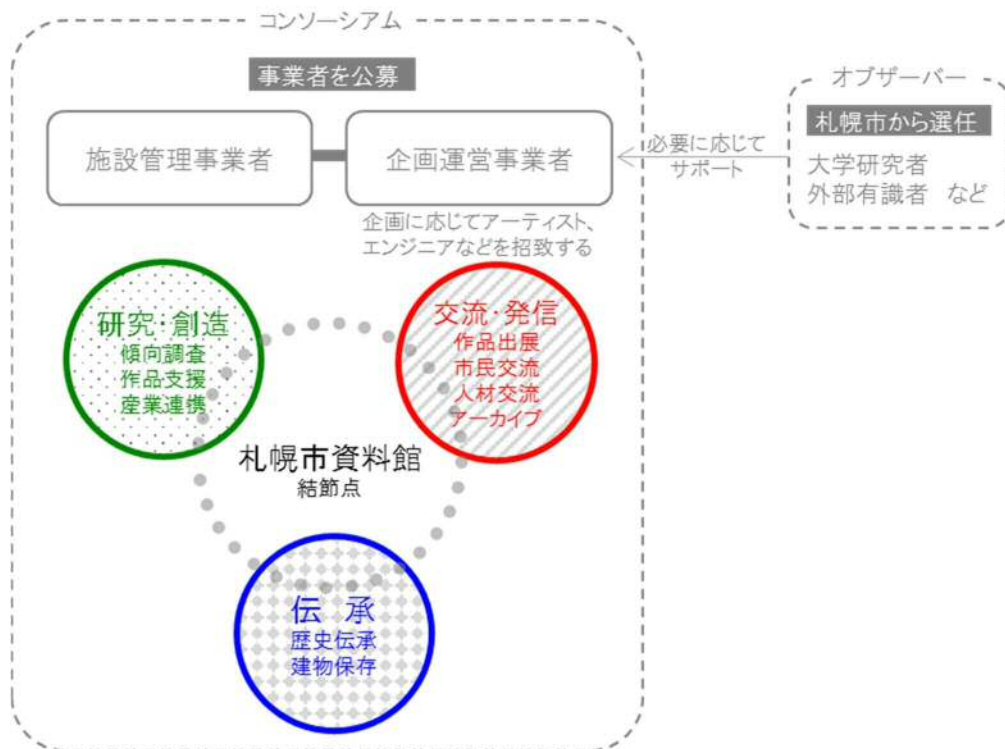
資料館ではメディアアーツ都市としての札幌を国内外に発信すると同時に、市民の創造性を喚起するとともに国内外からの投資の拡大につながる事業を企画実施できる運営体制を整えます。

そこで、リノベーション後の管理事業者は、これまでの民間のノウハウを活用した施設の維持管理を担うことに加え、研究・創造とその発信などの事業を企画実施可能であることを条件として選定していきます。

具体的には、事業を企画や実施するうえで、その内容に見合ったアーティストやエンジニアなどの人材を呼んで事業展開することを想定しています。また、市としての事業企画運営のサポートとして、学識経験者や研究機関の有識者などからなるオブザーバー設置を検討します。

また旧札幌控訴院としての歴史や建築物の価値を伝えるボランティアの方々も貴重な人材となっていますが、国内外との交流・発信に係る事業や、外国人観光客の案内等のため、芸術表現に精通しつつ語学が堪能な人材の確保も図っていきます。

【事業構造と運営体制イメージ】



## (2) 市民利用における運用変更

現在、市民利用されている貸室部分は、メディアアートの制作や小規模なインスタレーション（体験型空間展示）として利用することを可能としながら、市民の自主的・創造的な活動に応じた様々な利用に対応できるよう、貸出し期間などについて見直しを行い、段階的に研究・創造と交流・発信の場としての特色が現れるようにしていきます。

貸室のなかでも比較的面積の大きい研修室は歴史的建造物としての雰囲気のある個性的な空間であり、小規模な会議等の会場（ユニークベニュー）としても対応していきます。

また、ホワイトイルミネーション、さっぽろ雪まつりなどの観光イベントにあわせた開館時間の延長などにより、より訪れやすい観光資源となる運用を行います。

## (3) 文化財としての適切な管理運営

### ア 文化財の維持管理

構造部材、建具等の可動部分や人の通行の多い部分など建築物そのもののほか、創建当時の門柱・外周柵等敷地の外構も含めて損傷、腐食その他の劣化がないか定期的に点検します。また、いたずらなどによる汚損等が生じないように、現状と同様に夜間も含めた常駐管理を行います。

### イ 防災上の維持管理

消火器等の使用期限、火災報知器、避難誘導灯の作動など消防用設備の確認、非常用照明などの避難施設等について定期的に点検するほか、避難経路への障がい物の設置等がないよう日常的にも防災対策に配慮した管理運営を行います。



### 3 施設計画

#### (1) 歴史的建造物の保全とバリアフリー対応

資料館は国の登録有形文化財であり、将来的には国の重要文化財となり得る可能性を持つ貴重な財産です。歴史的価値、建築的価値を後世に継承していくため、札幌市文化財保護条例に基づく文化財として指定を目指し、保存と活用を行います。また、その際には旧札幌控訴院の由来を明確にし、観光客等の誘致ツールとして活用できるわかりやすさを考慮した文化財名称とします。

また、現在の施設の内容と一致していない札幌市資料館という名称を変更し、施設の機能を表現する名称を定めます。

#### ア 耐震改修

耐震性能を確保し文化財としての価値を維持するため、耐震改修を行います。改修にあたっては内観意匠に与える影響等の課題の整理や費用対効果を考慮して工法を選択します。

#### 【耐震補強工法の比較】

補強種別	工法	概要	概算工事費
応答制御型	免震装置★	基礎部分に免震装置（免震ゴム、ダンパー等）を設置	約 16 億円
強度増進型	鉄筋コンクリート壁	既存のレンガ壁に鉄筋コンクリート壁を新規に増設	約 11 億円 （PC 鋼棒は特殊工法であるため現段階では算出不可）
	鉄骨フレーム	鉄骨の柱、梁、ブレースによる耐震フレームを設置	
	炭素繊維シート★	既存のレンガ壁に炭素繊維シートを設置	
	鋼板★	既存のレンガ壁に鋼板を貼り付け	※各工法は、単独又は組み合わせでの補強を検討
	PC 鋼棒	レンガ壁の頭頂部から壁内に PC 鋼棒を挿入し、プレストレスを導入してレンガ目地のせん断耐力の向上を図る	

★：検討委員会において評価の高かった工法

## イ 保全改修

建築物そのもののほか、前庭や車寄せ、門柱・外周柵を含めて、創建当時の意匠を保存・継承するため保全改修を行います。この際には可能な限り創建当時の材料を使用するとともに、補修・改修や再現に伴う履歴を記録・保存します。

冷暖房設備や給排水設備などの改修の際には大正期の歴史的建造物ならではの特徴などを生かしながら、断熱性や気密性等を向上し、温熱環境の改善を図ります。

また、貴重な文化財の価値の維持と安全性の確保のため、耐震改修に加えて消防法や建築基準法の避難規定に準拠した出火防止・火災拡大防止の措置や在館者の避難安全性・消防活動の円滑性を確保します。

これらの改修とあわせ、大通公園西端のアイストップとなっている外観は、観光資源としての魅力向上を図るため、現在設けているライトアップ設備を効果的な配置とします。

## ウ バリアフリー化

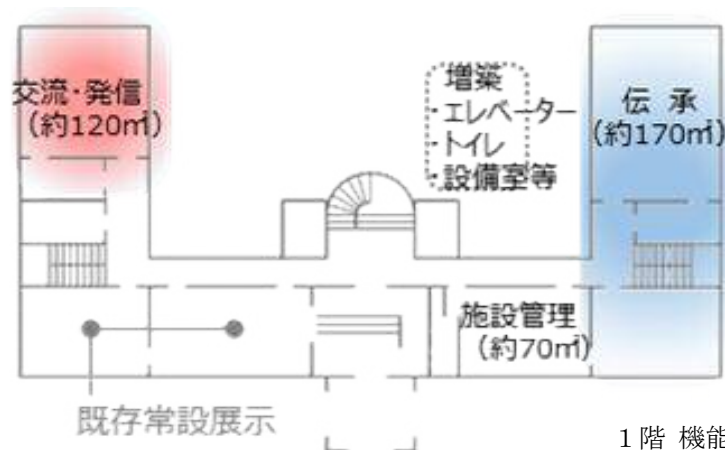
高齢者や身体に障がいのある方など誰もが利用しやすい施設とするため、関係法令に則り、バリアフリー化対応（エレベーター、多目的トイレ等の設置）を行います。これらの設備等は文化財価値を著しく損なわないよう既存建築物とは別に設置するとともに大通公園からの景観を阻害しないよう配慮するものとし、また敷地内には車いす利用者用駐車施設を整備します。

## (2) 諸室整備

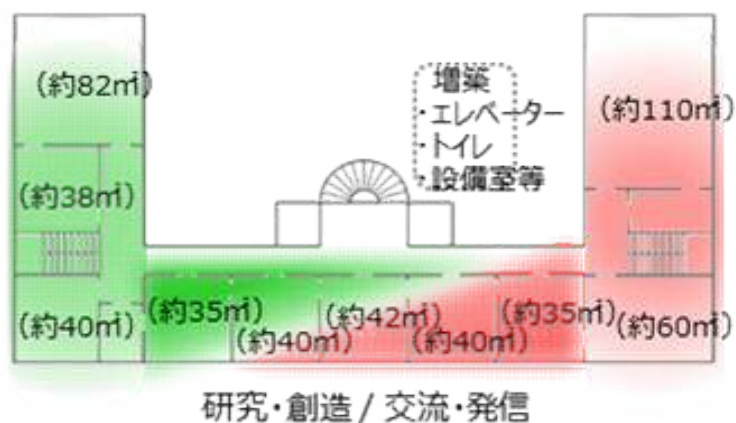
諸室の機能配置は来館者にとってのわかりやすさを考慮し、事業計画において相互に関係性のある機能ごとに館内のまとまったエリアに集約して配置します。

また、現状において歴史的建造物としての価値を低下させているボイラー設備や露出した備品等は、文化財としての価値や創建当時の意匠を尊重し、その魅力を市民や観光客がより享受できるよう、その収納スペースについてバリアフリー化に係る施設との一体的な配置を検討します。

さらに、館内の各室名の表示は旧札幌控訴院時代の室名を併記するとともに、国外から訪れる観光客等にとってもわかりやすい施設となるよう、施設内のサインや展示物のキャプションも含め多言語化の充実を図ります。



1階 機能配置イメージ図



2階 機能配置イメージ図

## 【スケジュール】



※ 整備計画では、耐震工法・免震工法などの耐震化工法の選定、既存棟の保存改修内容や諸室配置など基礎的、技術的な検討を行います。

## 【概算事業費】



※ 現時点における概略試算であり、総事業費は耐震化工法によっても異なりますので、今後の設計等の段階で精査していきます。